令和６年度第１回さいたま市発達障害者支援連絡協議会　議事概要

開催日時：令和６年８月１日（木）　１５時～１７時

開催方法：障害者支援センター　２Ｆ研修室

出席者名：委員・・・名越　斉子委員、河西　有奈委員、鈴木　朋憲委員、山森　恵美委員、天野　尚子委員、石丸　靖子委員、小島　正美委員、中野　昭江委員、内田　陽子委員、中澤　真佐子委員、國分　留志委員、西本　享司委員、岡田　清華委員、市原　菜央委員、

新井 勇気委員（代理出席）、野中 好永委員、枝　秀威委員 （敬称略）

事務局・・小泉　秀幸、太田　邦子、中尾　賢史、新藤　洋明、森居　深雪、菊地　義

　　　　徳

欠席者名：佐藤　忠広委員、井上　野歩委員、鈴木　研吾委員（敬称略）

配布資料：次第

令和６年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会　委員名簿

発達障害者地域支援マネジャーチラシ

発達障害者支援連絡協議会協議題一覧

公開又は非公開の別：非公開（さいたま市情報公開条例第23条第2号に掲げる場合に該当するため｛同条例第7条第2号に規定される不開示情報に該当する事項について審議し、又は意見を聴取するため｝）。

議題:

1. 各機関の紹介

全委員および事務局より自己紹介

1. 令和５年度発達障害者支援連絡協議会の内容について

事務局より令和５年度の協議内容について報告。また、委員より啓発活動の実践報告を受けた。

（３）さいたま市発達障害者地域支援マネジャーの活動について

　　　事務局より事業の内容について説明、下記のとおり質疑と要望を受けた。

　　　カッコ内は事務局からの回答。

　　　・モデル区の選定理由について。（手帳所持者数や事業所数が多いことから選定）

　　　・今後の展開について。（実績を検証し展開を検討していく）

　　　・学校種に制限はあるか。（制限はない）

　　　・未診断やグレーゾーンの方は対象か。（対象とする）

　　　・実績は。（会議開催日時点での実績を報告）

　　　・未診断の方も対象になることが分かるような周知をしてほしい。

（４）令和６年度の活動について

　　生涯を通じた事例等を用いて、幼少期から成人期にかけての支援について協議会の中で検討することとなる。事例を通してそれぞれの支援機関の役割を確認し、他機関との繋ぎについて意見交換をしていく。

　　また、事例を扱いながらさいたま市の支援体制についてもQ-SACCS等のツールを活用し検討する。

（５）事務局による事務連絡

　　・謝金の支払いについて

　　・第２回さいたま市発達障害者支援連絡協議会について

以上